

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	413広域行政の推進		
施策のねらい (めざす姿)	自治体間の広域的な連携により、行政が効率化し、市民の利便性や福祉が向上しています。		
基本目標	4計画の実現のために	施策担当マネージャー	総務企画部次長
政策	41計画の実現のために	マネージャー氏名	山崎 正史

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	住民サービスの向上と事務の効率化の両面から、広域的な業務を拡大する。	③改革・改善内容	国、県等の動向の把握・分析に努めながら、行財政運営の効率化、市民サービスの向上等が十分に発揮される枠組み・仕組みを検討していく。
②①に基づく取り組み結果	広域行政についての先進市の視察や専門家を招いた研修会を開催して、各市ともに共通認識を図った。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民及び近隣自治体	意図(対象をどうするのか)	自治体間の広域的な連携により、行政の効率化や市民サービスを向上する。
②施策の概要	近隣自治体と連携し、広域的な共通課題に向けた取り組みについて検討を行うもの。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	少子高齢化や人口減少が進展する中で、自治体ごとの行政サービスについて、広域的な視点によって、より効率的な運営を目指す必要が出てきている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	近隣自治体と連携し、国や県に対し、行政課題に対する要望書を提出した。また、事務レベルでは、近隣自治体の行政運営上の課題について共通認識を図った。							
②施策成果指標	指標名称			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	共同処理事務数	件	4	4	4	増加	
	ii	公共施設の共同利用数	件	0	0	0	増加	
	iii	広域要望の実現度	%	0	0	0	増加	
③基本事業成果指標	i	広域連携で行っている事業数	件	4	4	4	増加	
	ii	広域要望の実現度	%	0	0	0	増加	
	iii	合併及び政令指定都市に関する広報実施回数	回	0	0	0	増加	
	iv							
	v							
	vi							
	vii							
	viii							
	ix							
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算				
事業費(千円)	56	171	(単位:円)	2円	184			

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	少子高齢化や人口減少進む一方で、様々な行政課題がある中、広域行政について、より一層近隣自治体との連携強化を図る必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	毎年、国や県に対し、近隣自治体と連携し、行政課題に対する要望書を提出した。また、行政運営について各市で直面する課題に対して共通認識を図った。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑向上	②コストの方向性	→維持
③特に重点化する事務事業	広域行政に要する経費		
④上記方向性の説明	一自治体では解決できない行政課題に対しては、広域的な協議会の枠組みを活用して、広域要望を実現することで、行政の効率化や市民サービス向上を図っていく必要があるため。		